

写

学研高山地区第2工区の早期事業化を
求める請願書

紹介議員氏名

井上亮生

福田欣彦

大崎保夫

中谷尚敬

矢奥憲一

中村達男

山田正弘

池田厚子

中村 修

西口謙一

祐野周三

下村晴意

渡辺まゆみ

中畑成稔

中野陽泰

生駒市議会
18.2.28
請願第1号
受付

平成18年2月28日

生駒市議会議長

酒井 隆 殿

請願者

請願の趣旨

関西文化学術都市は、「文化、学術及び研究の中心となるべき都市を建設し、我が国及び世界の文化等の発展並びに国民経済の発達に資すること」を目的に、その建設がすすめられてきたもので、本市では、学研高山第1工区に引き続く学研高山第2工区の整備は、昭和62年の関西文化学術研究都市建設促進法に基づく国の建設方針及び、奈良県の建設計画に定められた国家的プロジェクトであるというだけでなく、生駒市の第4次総合計画においても又、それを策定する過程での市民会議や市民意識調査においても、学研地区や京阪奈新線といった大規模プロジェクトを活用し、市民、事業者、行政のいずれもが主体となって、かけがえのない生駒固有の可能性を一層引き出し、本市独自の可能性に挑戦し、新たな創造を繰り広げることが望まれています。

現在学研都市には、進出機関企業数は約230に達し、人口も約22万人に数えるに至り、緑とのふれあいや、知的で文化的な交流など、学研都市らしいライフスタイルも生まれつつあります。

しかしながら我が国は、少子高齢化社会を迎え、社会経済面での活力を維持しつつ人類に貢献していく責務があります。そのため我が国の文化をさらに高めるとともに、物質的充足の追求から精神的豊かさの希求へと、シフトさせるような新たな価値観を投球発信していくことが必要となってきました。

このような背景のもと、今回策定されるサードステージプラン「関西文化学術研究都市の新たな展開を目指して」は、学研都市にかかわる関係者の共通認識や、市民のまちづくりへの参画に資するとともに、これからの学研都市建設や、高度な都市運営、都市活動に係わる諸施策に反映されることが期待されています。

このようなことから、学研高山第2工区の整備につきましても、関西文化学術都市の一翼を担うとともに、第2工区の整備と東西線、南北線の道路の早期整備が、学研高山第2工区と精華地区との一体化を図る重要な位置づけをされているものです。

また、待ちに待ったけいはんな学研都市と大阪ベイエリアとを一直線で結ぶ近鉄けいはんな線がいよいよ3月27日に開業されます。学研高山第2工区の整備は、北部地域の住民はもちろんのこと、多くの市民及び奈良先端科学技術大学院大学が期待しているものであり、当初の計画どおり、一日も早い事業化に向け引き続き関係機関に積極的に働きかけていただくようお願いいたします。